

2021年7月21日

各位

上場会社名 東京製鐵株式会社
 代表者 代表取締役社長 西本 利一
 (コード番号 5423 東証第一部)
 問合せ先責任者 取締役常務執行役員
 (総務部長) 奈良 暢明
 (TEL 03-3501-7721)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、下記のとおり2021年4月23日に公表した2022年3月期第2四半期(累計)個別業績予想および通期個別業績予想を修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2021年4月1日~2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	110,500	6,000	6,000	5,500	45.95
今回修正予想(B)	118,000	10,000	10,000	9,000	75.26
増減額(B-A)	7,500	4,000	4,000	3,500	—
増減率(%)	6.8	66.7	66.7	63.6	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	67,358	3,264	3,679	3,223	26.64

2. 2022年3月期通期個別業績予想数値の修正(2021年4月1日~2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	221,000	12,000	12,000	11,000	91.90
今回修正予想(B)	244,000	22,000	22,000	19,000	158.88
増減額(B-A)	23,000	10,000	10,000	8,000	—
増減率(%)	10.4	83.3	83.3	72.7	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	141,448	3,995	4,994	5,889	48.04

修正の理由

当4-6月期におきましては、海外マーケットは、鉄鋼需要の急回復により供給が追い付かず、鋼材市況が歴史的な高値に達するなか、その影響を受けて、国内市況も上昇基調を辿りました。当社におきましては、販売数量が前年の落ち込みから回復するとともに、これまで実施した値上げにより、製品出荷単価が上昇いたしました。今後の見通しにつきましても、海外では、鉄不足の状態が解消されず、鋼材需給は引き締まった状況が続き、国内においても、建設工事や民間設備投資の持ち直し等を受けて、鋼材需要は堅調に推移すると期待されます。主原料である鉄スクラップ価格の高止まりや、電力料金・諸資材価格の上昇等が懸念される一方、これまでの製品販売価格の連続値上げが、第2四半期以降の製品出荷単価に反映されることから、販価上昇による利益幅の拡大が利益をさらに押し上げると見込まれます。

以上のような次第から、第2四半期累計期間および通期の業績予想について修正いたします。

なお上記の予想は、本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績は、主原料である鉄スクラップ価格、鋼材の市況等により変動する可能性があります。

以上